



令和4年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和4年11月4日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社
コード番号 2533 URL <https://www.oenon.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 田中 直子

TEL 03-6757-4584

四半期報告書提出予定日 令和4年11月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年12月期第3四半期の連結業績(令和4年1月1日～令和4年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年12月期第3四半期	57,992	2.2	869		799		1,351	
3年12月期第3四半期	56,765	0.9	952	16.7	993	14.5	206	60.0

(注) 包括利益 4年12月期第3四半期 1,298百万円 (%) 3年12月期第3四半期 449百万円 (8.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年12月期第3四半期	22.73	
3年12月期第3四半期	3.48	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
4年12月期第3四半期	52,534	20,309	35.1
3年12月期	52,280	22,045	38.3

(参考) 自己資本 4年12月期第3四半期 18,429百万円 3年12月期 20,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年12月期				7.00	7.00
4年12月期					
4年12月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和4年12月期の連結業績予想(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,500	3.7	850		800		1,600		26.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	4年12月期3Q	65,586,196 株	3年12月期	65,586,196 株
期末自己株式数	4年12月期3Q	6,153,753 株	3年12月期	6,153,362 株
期中平均株式数(四半期累計)	4年12月期3Q	59,432,668 株	3年12月期3Q	59,433,418 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

○第3四半期決算 参考資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、W I T Hコロナでの経済活動・社会活動の正常化に向けた動きが再開されつつあります。一方で、ウクライナ情勢に起因するエネルギー資源、原材料価格の高騰や、急激な円安進行等に伴う物価上昇により、個人消費や経済活動への影響が懸念されるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、グループの持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を図るべく、中長期戦略「長期ビジョン100」で掲げた5本の柱を軸とした諸施策を引き続き進めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、57,992百万円（前年同期比2.2%増）となりました。利益面では、原料である粗留アルコールやコーン価格の大幅な高騰などの影響を受け、869百万円の営業損失（前年同期は952百万円の営業利益）、799百万円の経常損失（前年同期は993百万円の経常利益）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,351百万円（前年同期は206百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

販売実績

セグメントの名称	アイテム	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年9月30日) (百万円)	前年同期比 (%)	
酒類	和酒部門	焼酎	26,089	95.1
		チューハイ	10,191	110.6
		清酒	2,350	106.9
		合成清酒	1,287	102.2
		販売用アルコール	7,733	113.8
		みりん	443	85.5
		48,094	101.4	
	洋酒部門	3,368	108.2	
	その他の部門	427	97.2	
		51,890	101.8	
加工用澱粉		3,070	109.9	
酵素医薬品		2,688	99.9	
不動産		286	107.7	
その他		57	113.0	
	合 計	57,992	102.2	

【酒類事業】

酒類事業におきましては、国内の人口減少や少子高齢化、飲酒機会の減少により市場の伸張が期待しにくく、価格競争も激化しております。飲用シーン別においては、家飲みの定着により、チューハイなどのR T D分野に加えて、居酒屋の味を自宅で自分好みに楽しむことができる“チューハイの素”と呼ばれる、割って飲む希釈タイプのリキュール（R T S）が伸張しております。このような環境の下、売上高は51,890百万円（前年同期比1.8%増）となりました。利益面につきましては、1,140百万円の営業損失（前年同期は318百万円の営業利益）となりました。

和酒部門のうち焼酎につきましては、本格焼酎の「博多の華」シリーズや、しそ焼酎「鍛高譚」が好調に推移したものの、P B商品等の減少により、売上高は減少いたしました。同カテゴリーでは、甲類焼酎「ビッグマン」をはじめとした焼酎などのペットボトル商品について、ケミカルリサイクル方式でリサイクルされた原料を20%使用したペットボトル容器に変更する、酒類業界初の取組みを昨年度より行ってまいりましたが、本年4月より順次、リサイクル原料の使用割合を30%に引き上げた容器に変更しております。「ビッグマン」シリーズのペットボトル商品を始めとした一部商品ではこれに伴い、パッケージに“P E Tボトルリサイクル推奨マーク”を採用し、環境に配慮した商品であることを訴求しております。

チューハイなどのR T D分野につきましては、「昔懐かしい」シリーズやP B商品が好調に推移し、売上高は増加

いたしました。同カテゴリーでは、レトロな雰囲気や懐かしい味わいを楽しめる「昔懐かしい」シリーズより、昔ながらの喫茶店で親まれてきたコーラフロートの味わいを再現した「昔懐かしいコーラフロートサワー」を新たに発売し、ラインアップを強化しております。

清酒につきましては、市場の低迷が続いておりますが、「福德長 米だけのす〜っと飲めてやさしいお酒 純米吟醸酒パック」やPB商品が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

販売用アルコールにつきましては、消毒用アルコール等の原料となる工業用アルコール及び酒類原料用アルコールが好調に推移し、売上高は増加いたしました。

洋酒部門につきましては、炭酸水で割るだけで手軽にレモンサワーを楽しむことができる、RTSの「耐ハイ専科レモンサワーの素」や「ウイスキー 香薫(こうくん)」が好調に推移し、売上高は増加いたしました。同カテゴリーでは、好調に推移しているRTSの「耐ハイ専科」シリーズに、炭酸水で割るだけで華やかな香りの梅酒サワーが楽しめる「耐ハイ専科 梅酒サワーの素」を追加し、家飲みのお選択肢を増やしたいお客様のニーズにお応えしております。

【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業につきましては、原料であるコーン価格の大幅な高騰に対応するべく、販売価格の改定に取り組んだことにより、売上高は3,070百万円(前年同期比9.9%増)となりました。しかしながら、急激な原価上昇に追いつかず、273百万円の営業損失(前年同期は20百万円の営業損失)となりました。

【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業につきましては、酵素部門における海外での販売や、原薬及び診断薬が減少したため、売上高は2,688百万円(前年同期比0.1%減)となりました。また、原料価格及びエネルギー価格の高騰等による原価の上昇や製品構成の影響により、営業利益は381百万円(前年同期比24.5%減)となりました。

【不動産事業】

不動産事業につきましては、売上高は286百万円(前年同期比7.7%増)、営業利益は151百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、52,534百万円となり、売上債権は減少したものの、有形固定資産や棚卸資産が増加したため、前連結会計年度末と比較し254百万円の増加となりました。

負債につきましては、32,225百万円となり、未払酒税は減少したものの、短期借入金が増加したため、前連結会計年度末と比較して1,990百万円の増加となりました。

純資産につきましては、20,309百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,736百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、令和4年8月5日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和3年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	990	631
受取手形及び売掛金	16,295	13,615
商品及び製品	5,710	6,362
仕掛品	200	233
原材料及び貯蔵品	1,955	2,129
その他	463	937
貸倒引当金	△18	△11
流動資産合計	25,596	23,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,053	30,200
減価償却累計額	△19,282	△19,606
建物及び構築物（純額）	6,770	10,593
機械装置及び運搬具	36,076	36,284
減価償却累計額	△30,192	△30,872
機械装置及び運搬具（純額）	5,883	5,412
土地	9,620	9,628
建設仮勘定	1,277	15
その他	1,857	1,818
減価償却累計額	△1,646	△1,612
その他（純額）	210	206
有形固定資産合計	23,763	25,856
無形固定資産		
のれん	7	5
その他	291	545
無形固定資産合計	298	551
投資その他の資産		
投資有価証券	1,404	1,472
繰延税金資産	891	380
退職給付に係る資産	17	22
その他	313	358
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,622	2,228
固定資産合計	26,684	28,636
資産合計	52,280	52,534

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和3年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,699	4,861
電子記録債務	1,624	1,367
短期借入金	3,700	8,800
未払金	4,400	3,726
未払酒税	8,726	4,941
未払法人税等	147	77
賞与引当金	60	319
役員賞与引当金	17	2
株主優待引当金	18	-
設備関係支払手形	159	39
設備関係電子記録債務	76	37
その他	1,720	658
流動負債合計	25,350	24,832
固定負債		
長期借入金	-	2,400
長期預り金	3,140	3,152
繰延税金負債	164	245
役員株式給付引当金	101	110
退職給付に係る負債	1,282	1,306
資産除去債務	53	53
その他	142	123
固定負債合計	4,884	7,393
負債合計	30,235	32,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,601	5,602
利益剰余金	8,563	6,779
自己株式	△1,578	△1,578
株主資本合計	19,532	17,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	354	397
繰延ヘッジ損益	53	216
退職給付に係る調整累計額	71	66
その他の包括利益累計額合計	480	680
非支配株主持分	2,032	1,879
純資産合計	22,045	20,309
負債純資産合計	52,280	52,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年9月30日)
売上高	56,765	57,992
売上原価	47,476	51,324
売上総利益	9,289	6,667
販売費及び一般管理費	8,336	7,536
営業利益又は営業損失(△)	952	△869
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	25
受取賃貸料	53	50
為替差益	8	45
雑収入	34	35
営業外収益合計	118	156
営業外費用		
支払利息	44	53
操業休止等経費	20	19
雑損失	13	14
営業外費用合計	78	87
経常利益又は経常損失(△)	993	△799
特別利益		
その他	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除売却損	50	22
製品回収関連損失	-	86
投資有価証券評価損	44	-
投資有価証券売却損	2	-
事業再編損失引当金繰入額	615	-
その他	1	0
特別損失合計	715	109
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	278	△909
法人税等	90	591
四半期純利益又は四半期純損失(△)	188	△1,500
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	△149
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	206	△1,351

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	188	△1,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	194	42
繰延ヘッジ損益	72	164
退職給付に係る調整額	△6	△5
その他の包括利益合計	260	201
四半期包括利益	449	△1,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	465	△1,151
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	△147

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来、販売費及び一般管理費として計上していた一部の費用について、第1四半期連結会計期間より顧客に支払われる対価として、売上高から控除しております。また、従来、主に船積時に収益を認識していた輸出入取引について、財又はサービスを顧客に移転し、当該履行義務が充足された時点で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が217百万円減少し、売上原価は6百万円増加し、販売費及び一般管理費は222百万円減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ1百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は13百万円減少しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 令和2年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 令和元年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 令和元年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和3年1月1日 至 令和3年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	50,963	2,794	2,690	265	56,714	50	—	56,765
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	—	—	—	1	—	△1	—
計	50,965	2,794	2,690	265	56,716	50	△1	56,765
セグメント利益又は セグメント損失(△)	318	△20	505	139	943	9	—	952

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和4年1月1日 至 令和4年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	51,890	3,070	2,688	286	57,934	57	—	57,992
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	—	—	—	2	—	△2	—
計	51,892	3,070	2,688	286	57,936	57	△2	57,992
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△1,140	△273	381	151	△880	11	—	△869

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「酒類」の売上高は171百万円減少、「加工用澱粉」の売上高は46百万円減少しておりますが、セグメント損失に与える影響は軽微です。

令和4年12月期 第3四半期決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. 要約連結損益計算書（当四半期）
3. セグメント別売上高
4. 利益増減要因
5. 要約連結貸借対照表
6. 連結業績予想
7. 予想売上高

オエノンホールディングス株式会社

令和4年11月4日

1. 要約連結損益計算書

単位:百万円

	前第3四半期 連結累計期間 自 令和3年 1月 1日 至 令和3年 9月30日	当第3四半期 連結累計期間 自 令和4年 1月 1日 至 令和4年 9月30日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	50,963	51,890	926	101.8
加工用澱粉事業	2,794	3,070	275	109.9
酵素医薬品事業	2,690	2,688	△ 1	99.9
不動産事業その他	316	343	27	108.5
売上高	56,765	57,992	1,226	102.2
売上原価	47,476	51,324	3,848	108.1
売上総利益	9,289	6,667	△ 2,621	71.8
販売費及び一般管理費	8,336	7,536	△ 799	90.4
酒類事業	318	△ 1,140	△ 1,458	-
加工用澱粉事業	△ 20	△ 273	△ 253	-
酵素医薬品事業	505	381	△ 123	75.5
不動産事業その他	148	162	13	109.4
営業利益	952	△ 869	△ 1,822	-
営業外収益	118	156	37	131.9
営業外費用	78	87	9	111.6
経常利益	993	△ 799	△ 1,793	-
特別利益	0	-	△ 0	-
特別損失	715	109	△ 605	15.3
税金等調整前四半期純利益	278	△ 909	△ 1,187	-
法人税等合計	90	591	500	653.4
四半期純利益	188	△ 1,500	△ 1,688	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 18	△ 149	△ 130	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	206	△ 1,351	△ 1,557	-
1株当たり四半期純利益(円)	3.48	△ 22.73	△ 26.21	-

※当社グループは令和4年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しているため、上記の連結業績(当第3四半期連結累計期間)は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。
 なお、当該会計基準等を適用することによる影響額は、売上高については酒類△171百万円、加工用澱粉△46百万円、利益については軽微であります。

2. 要約連結損益計算書(当四半期)

単位:百万円

	前第3四半期 連結会計期間	当第3四半期 連結会計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和3年 7月 1日 至 令和3年 9月 30日	自 令和4年 7月 1日 至 令和4年 9月 30日		
酒類事業	16,943	17,660	716	104.2
加工用澱粉事業	931	1,017	85	109.2
酵素医薬品事業	797	830	32	104.1
不動産事業その他	110	115	4	104.4
売上高	18,783	19,623	840	104.5
売上原価	15,948	17,878	1,929	112.1
売上総利益	2,834	1,745	△ 1,089	61.6
販売費及び一般管理費	2,707	2,467	△ 239	91.1
酒類事業	22	△ 693	△ 716	-
加工用澱粉事業	△ 22	△ 124	△ 101	-
酵素医薬品事業	74	43	△ 31	58.0
不動産事業その他	53	52	△ 0	98.2
営業利益	127	△ 722	△ 849	-
営業外収益	28	28	△ 0	98.8
営業外費用	30	29	△ 1	95.9
経常利益	125	△ 722	△ 848	-
特別利益	0	-	△ 0	-
特別損失	627	4	△ 623	0.7
税金等調整前四半期純利益	△ 501	△ 726	△ 225	-
法人税等合計	△ 125	△ 47	77	-
四半期純利益	△ 375	△ 679	△ 303	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 24	△ 72	△ 48	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 351	△ 606	△ 255	-
1株当たり四半期純利益(円)	△ 5.91	△ 10.21	△ 4.30	-

※当社グループは令和4年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しているため、上記の連結業績(当第3四半期連結会計期間)は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。
 なお、当該会計基準等を適用することによる影響額は、売上高については酒類△57百万円、加工用澱粉△15百万円、利益については軽微であります。

3. セグメント別売上高

単位：百万円

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和3年 1月 1日 至 令和3年 9月30日	自 令和4年 1月 1日 至 令和4年 9月30日		
焼酎	27,423	26,089	△ 1,334	95.1
（ 甲 類 焼 酎 ）	(9,822)	(9,406)	(△ 416)	(95.8)
（ 乙 類 焼 酎 ）	(17,601)	(16,682)	(△ 918)	(94.8)
チ ュ ー ハ イ	9,213	10,191	977	110.6
清 酒	2,199	2,350	151	106.9
合 成 清 酒	1,260	1,287	27	102.2
販 売 用 ア ル コ ー ル	6,794	7,733	938	113.8
み り ん	518	443	△ 75	85.5
洋 酒	3,113	3,368	254	108.2
そ の 他	439	427	△ 12	97.2
酒 類 計	50,963	51,890	926	101.8
加 工 用 澱 粉	2,794	3,070	275	109.9
酵 素 医 薬 品	2,690	2,688	△ 1	99.9
不 動 産	265	286	20	107.7
そ の 他	50	57	6	113.0
合 計	56,765	57,992	1,226	102.2

4. 利益増減要因

単位:百万円

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	△ 1,458	売上高増加による総利益増+100 原材料コストの上昇による原価増△3,140 電力費など製造経費の増△290 人件費など販管費の減+720 製品構成、販売単価の上昇による影響等+1,152
加工用澱粉事業	△ 253	原料(コーン)価格の高騰
酵素医薬品事業	△ 123	原材料コストの上昇および製品構成による原価増
不動産事業その他	13	
営業利益	△ 1,822	
営業外収益	37	為替差益の増
営業外費用	△ 9	
経常利益	△ 1,793	
特別利益	△ 0	
特別損失	605	事業再編損失引当金繰入額の減
税金等調整前四半期純利益	△ 1,187	
法人税等	△ 500	
四半期純利益	△ 1,688	
非支配株主に帰属する四半期純利益	130	
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 1,557	

5. 要約連結貸借対照表

単位: 百万円

	前連結会計年度 令和3年12月31日	当第3四半期 連結会計期間 令和4年9月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	990	631	△ 359	63.7	
受取手形及び売掛金	16,295	13,615	△ 2,679	83.6	季節要因による売上高減
棚卸資産	7,866	8,725	859	110.9	
その他	463	937	474	202.4	
貸倒引当金	△ 18	△ 11	7	-	
流動資産合計	25,596	23,898	△ 1,697	93.4	
建物	5,064	8,927	3,862	176.3	銀座ビル跡地開発完成に伴う増
土地	9,620	9,628	8	100.1	
その他	9,077	7,300	△ 1,777	80.4	銀座ビル跡地開発建設仮勘定の減
有形固定資産計	23,763	25,856	2,093	108.8	
無形固定資産	298	551	252	184.5	
投資有価証券	1,404	1,472	67	104.8	
長期前払費用	105	122	17	116.2	
繰延税金資産	891	380	△ 511	42.7	当期で一部取り崩しのため減
その他	225	258	33	114.7	
貸倒引当金	△ 5	△ 5	-	-	
投資その他の資産計	2,622	2,228	△ 393	85.0	
固定資産合計	26,684	28,636	1,952	107.3	
資産合計	52,280	52,534	254	100.5	

単位:百万円

	前連結会計年度 令和3年12月31日	当第3四半期 連結会計期間 令和4年9月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,324	6,229	△ 95	98.5	
短期借入金	3,700	8,800	5,100	237.8	
未払金	4,400	3,726	△ 673	84.7	
未払酒税	8,726	4,941	△ 3,784	56.6	季節要因による売上高減
その他	2,199	1,135	△ 1,063	51.6	未払消費税の減
流動負債合計	25,350	24,832	△ 517	98.0	
長期借入金	—	2,400	2,400	—	
その他	4,884	4,993	108	102.2	
固定負債合計	4,884	7,393	2,508	151.3	
負債合計	30,235	32,225	1,990	106.6	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	—	100.0	
資本剰余金	5,601	5,602	0	100.0	
利益剰余金	8,563	6,779	△ 1,784	79.2	
自己株式	△ 1,578	△ 1,578	△ 0	—	
株主資本合計	19,532	17,749	△ 1,783	90.9	
その他有価証券評価差額金	354	397	42	112.1	
繰延ヘッジ損益	53	216	162	402.2	
退職給付に係る調整累計額	71	66	△ 5	92.3	
その他の包括利益累計額合計	480	680	199	141.6	
非支配株主持分	2,032	1,879	△ 152	92.5	
純資産合計	22,045	20,309	△ 1,736	92.1	
負債純資産合計	52,280	52,534	254	100.5	

自己資本比率(%)	38.3	35.1	△ 3.2		
-----------	------	------	-------	--	--

6. 連結業績予想

単位:百万円

	前連結会計年度 自 令和 3年 1月 1日 至 令和 3年12月31日	当連結会計年度 自 令和 4年 1月 1日 至 令和 4年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	71,099	73,101	2,002	102.8
加工用澱粉事業	3,810	4,350	540	114.2
酵素医薬品事業	3,277	3,509	231	107.1
不動産事業その他	431	538	106	124.7
売上高	78,618	81,500	2,881	103.7
売上原価	65,967	71,603	5,636	108.5
売上総利益	12,651	9,896	△ 2,754	78.2
販売費及び一般管理費	11,444	10,746	△ 697	93.9
酒類事業	499	△ 1,231	△ 1,730	-
加工用澱粉事業	△ 59	△ 370	△ 310	-
酵素医薬品事業	566	516	△ 50	91.1
不動産事業その他	200	235	34	117.1
営業利益	1,207	△ 850	△ 2,057	-
営業外損益	60	50	△ 10	82.8
経常利益	1,267	△ 800	△ 2,067	-
特別損益	△ 802	△ 200	602	-
税金等調整前当期純利益	464	△ 1,000	△ 1,464	-
法人税等合計	203	784	580	385.4
当期純利益	261	△ 1,784	△ 2,045	-
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 37	△ 184	△ 146	-
親会社株主に帰属する当期純利益	299	△ 1,600	△ 1,899	-

※当社グループは令和4年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想(当連結会計年度)は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。なお、売上高に対する、当該会計基準等を適用することによる影響額は軽微であります。

7. 予想売上高

単位:百万円

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和 3年 1月 1日 至 令和 3年12月31日	自 令和 4年 1月 1日 至 令和 4年12月31日		
焼 酎	38,369	37,176	△ 1,193	96.9
(甲 類 焼 酎)	(13,541)	(13,155)	(△ 386)	(97.1)
(乙 類 焼 酎)	(24,828)	(24,020)	(△ 807)	(96.7)
チ ュ ー ハ イ	12,482	13,700	1,217	109.8
清 酒	3,320	3,511	191	105.8
合 成 清 酒	1,885	1,977	92	104.9
販 売 用 ア ル コ ー ル	9,302	10,811	1,508	116.2
み り ん	705	568	△ 137	80.5
洋 酒	4,437	4,787	349	107.9
そ の 他	594	568	△ 26	95.6
酒 類 計	71,099	73,101	2,002	102.8
加 工 用 澱 粉	3,810	4,350	540	114.2
酵 素 医 薬 品	3,277	3,509	231	107.1
不 動 産	360	461	101	128.2
そ の 他	71	76	4	106.7
合 計	78,618	81,500	2,881	103.7

※当社グループは令和4年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想(当連結会計年度)は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

なお、売上高に対する、当該会計基準等を適用することによる影響額は軽微であります。